

第15回阿蘇市読書感想文コンクール 入賞者紹介

ことしは全57点の応募があり、厳選な審査の結果、13点が選ばれました。入賞者は次のとおりです。(敬称略)

✿阿蘇市長賞

阿蘇西小学校2年 緒方 由花里 「おはじきの木」を読んで
阿蘇中学校2年 坂梨 陽向 「障がいて、なあに？障がいのある人たちのゆかいなおはなし」を読んで
阿蘇中央高校2年 市原 樹 「いちご同盟」を読んで

✿阿蘇市教育長賞

阿蘇西小学校1年 大原 多美 もぐらはすゝいをよんで
内牧小学校2年 佐伯 旭 あいすることあいされることを読んで
阿蘇西小学校3年 本田 空雅 「いのちをいただく」を読んで
一の宮小学校4年 白石 舞花 ココロ屋を読んで
一の宮小学校5年 植木野めい 手と手をぎゅつとにぎつたらを読んで
阿蘇小学校6年 甲斐 爽歌 原発事故から学ぶ
一の宮中学校1年 古木 愛莉 「一〇五度」を読んで
一の宮中学校2年 早瀬 茉優 「釜石の奇跡いのちを守る授業」を読んで

✿図書館長賞

内牧小学校5年 下田 寛朗 ズッコケ三人組の未来報告を読んで
一般 五瀬 駿一 デービッド・アトキンソンからの提言



「おはじきの木」を読んで

阿蘇西小2年 おがたゆかり

わたしが、どうしてこの本をえらんだかというのと、「おはじきの木」という名がふしぎで、中はせんそうのはなしだったので、気になったからです。

この本は、五さいのかな子のおはなしです。かなこは、せんそうのとき、空しゅうの中で、おはじきをしながら、おかあさんとおとうとをまっしてしんどまいました。

そして、かな子のおとうさんのげんさんが、せんそうからかえってきて、自分のおくさんと子どもが、どうやってしんどまったかをさがしました。げんさんが、空き地のかたすみの一本のにれの木にむかって、「この木か。この木か。」

と、いくどもうめくようにつぶやいたところが、心にのこりました。きっとそこが、自分のか

ぞくがなくなつたばしょで、かぞくとあいたかつたのだろうなと思ひました。

げんさんが、にれの木に耳をちかづけていると、女の子があらわれて、

「なにが聞こえるの。」

と、たずねました。げんさんは、ありのままにはなしました。きつとげんさんは、自分のむすめと同じ年の女の子を見て、生きていたときのかな子を思い出したと思ひます。

女の子がいなくなつた後、また女の子がげんさんのよこをすりぬけていききました。ふりむくと、にれの木の中に、おはじきをしていけるかな子が見えたので、かけ出そうとしましたが、足はうごかず、声も出ませんでした。やつと木にちかづくと、かな子はきえてしまいました。

げんさんは、かなしかつたにちがいありません。かな子とはなしたかつたと思ひます。

げんさんにはなしかけた女の子は、ゆめの中で、いつもおはじきをしている女の子とあそんであげたことを、おかあさんにはなしました。きつと、女の子はひるま、げんさんにあつたこ

とが、心にのこつていたのだと思ひます。

わたしは、せんそうをしてはいけないと思ひます。せんそうは、ばくだんがおちて、たかさの人がなくなります。おやや子どもをなくすのは、とてもかなしいことです。

この本も、せんそうでかぞくをなくしたげんさんのかなしいおはなしです。でも、にれの木のまえで、女の子やしんだはずのかな子にあえて、うれしかつたんじやないかなと思ひます。わたしも、もし、大すきだつたひいばあちゃんにあえたら、とつてもうれしいと思ひます。

(審査員講評)

よみおわつて、せんそうをしてはいけない、げんしばくだんがおちてたぐさんの人がなくなる、おやや子どもをなくすのはとてもかなしいというかんそうをもつたゆかりさんです。かぞくがどうやってしんどまつたかをさがすおとうさんが、空き地のかたすみのにれの木にむかつて「この木か。この木か。」と、いくどもうめくようにつぶやいたところをしっかりと考えながら

読みとつています。家ぞくのありがたき、平和のとうとときについで考えがふかまりました。

『おほじきの木』
あまん きみこ／あかね書房

「障がいて、なあに？
障がいのある人たちのゆかいなおはなし」を読んで

阿蘇中学校2年 坂梨 陽向

私がこの本を見つけたとき、「障がいのある人たちのゆかいなおはなし」という言葉が私の目を引きつけました。

「ゆかいなおはなし」ってかいてあるけど「障がいのある人たちの」ってゆかいなおはなしなわけではない。でも、そんなことと本当にあるの？と思い私はこの本を読むことに決めました。今、考えると「ゆかいなおはなしなわけではない」というかわいそうという画一的な見かたは、本当にそうなのかと、考え直すきっかけをユーモアあふれるおはなしで私にくれた本です。私は、今まで障がいのある人に対して、かわいそうとばかり

考え、その一方で、障がいをもっていない人と比べだいぶ、よそよそしくしていました。それは、障がい者という名前を自分で勝手につけて、イメージを勝手にもち、あまり親しく自分が話すのもなあ、何考えてるのか分かんないし、そして何より、自分と違うから、接しづらいというのがほとんどでした。

しかし私はこの本を読んで、障がい者だって自分と同じようにいろんなことをするし、いろんな人がいる。ということに気づかされました。たしかに、その障がいをのぞけば、自分と同じ人で、同じことをします。

さらに、この本には、障がい者が靴を買いに来ていて、そこで店員は、障がい者の方ではなく親の方に「で、彼女のほしいサイズは何センチ？」と聞いているシーンがあります。なぜ、本人に聞かないのでしょうか。私たちが行くと本人に聞かれます。この店員が本人に聞かなかったわけを私は考えました。おそらくほとんどの人は意識的な偏見などはもっていないでしょう。しかし、私のように、無意識の偏見をもっている人は

少なくはないと感じます。私の思うこの厄介な所は差別をして、差別をしたという意識をしないところだと思えます。私は、これをなくすには、実際にきついかもしれないけど、どんな差別をされたのか、どう思ったのかをもっとたくさんの方が知るといいと思います。

今、わたしたちの暮らしの中で、障がい者はいます。そして私たちと同じです。私は今まで、自分が考えて、勝手にイメージしてきたものがとても、はずかしいです。自分と同じなのに勝手に、さけたり、よそよそしくしたり。私は自分を変えたいです。そのために、障がい者ではなく、障がいのある人と自分で呼び方をかえます。もとは同じ人で、たまたまあるだけだから。そして、勇気を出して、自分の家族と友達と同じようにしゃべることです。もしかしたら、自分と同じ趣味だったり、とても明るくて、おもしろい人もあります。

私は、この本に出合えて本当に良かったです。障がいのある人の生活、自分の態度について深く考え直すことができました。

これからは、自分の考えをしつかりと持ち、同じように接していきたいです。

(審査員講評)

障がいのある人に対してかわいそうという見方しかしてなかった、自分と違うから接しづらいと思っていた坂梨さんに、障がいのある人への見方を考え直すきっかけくれた貴重な本との出会いですね。靴屋の店員さんのように無意識な偏見で差別をしたという意識がないところが、今までの自分と同じでもはずかしいと気づかされた、これからは勇気を出して家族や友達と同じように接していきたいと考え直すことができ、本当にいい本に出会えましたね。

『障がいて、なあに？障がいのある人のゆかいなおはなし』
オードリー・キング著／明石書店

『いちご同盟』を読んで

阿蘇中央高校2年 市原 樹

私がこの本を読もうと思ったきっかけは、図書館の先生の勧めだった。最初、この本を見た

時『いちご同盟』という題名に心ひかれた。なぜなら、この本の題名からは、どういう本なのか全く想像できなかつたからだ。物語の内容にも、興味をもったこともあり、読んでみることにした。この本には、主に三人の中学生が登場する。一人目は中学三年生の北沢良一。彼は幼い頃からピアノを習っているのだが、自分のピアノの才能について悩み、自殺願望を抱えている少年だ。二人目は同じクラスの羽根木徹夜。彼は野球部のマネージャーをしており、彼は内気な良一と違って活発で明るい人物である。最後は、ある病を抱えている上原直美。彼女は片足を病によって失い、入院をしている。自分の寿命が長くないことを知っていながらも精一杯明るく振舞い生きようとする。そんな直美と二人が関わっていく中で、お互い成長していくという物語である。

私はこの本を読んで、まず最初に良一と自分を重ねて考えてみようと思った。私は、良一のように自殺願望をもったことは一度もないが、人間関係でとても悩んだことがあった。その時

は友達や家族との関わりについて悩み良一のように何事にも無気力になってしまった。そんな時に私を助けてくれたのは、ある友人が相談にのってくれたからであった。私は他人に自分のことを話すのが苦手で、相談をしたことが無かったが思いきって相談してみると気が楽になった。良一が、進路やピアノの才能、母親との関わりについて直美に相談をしたように、私もその経験を通じて人と関わることや繋がることの大切さを改めて実感した。また私も友達が悩みを抱えていたら、相談に乗ってあげようと思う。

また文中の「どうせ、みんな死んでしまうんだ。」この言葉にハッとさせられた。なぜなら私自身も以前同じようなことを考えたことがあったからだ。皆も一度は思ったことがあるのではないだろうか。良一はお互いに関わっていく中で大きな問題にぶつかる。それは、なぜ人は生きるのかということだ。この本の主題にもつながる部分である。良一はこの答えを「運命」という言葉で結論づけた。運命という漠然としたものは、捉え

方によっては良いことにも、悪いことにも考えることができるのではないかと思った。この三人が出会えたのも運命という名の奇跡であると思う。直美は病気になる前は死んでしまいが、良一にとって直美がいなければ、悩みを抱えたまま生きていくことがたえられずに自殺をしてしまい取り返しのできないことになっていたかもしれない。直美にとっても良一がいなければ、寿命が尽きるまでの日々を生き生きと過ごすことはできなかつたのだと思う。

人が生きる意味のはっきりとした答えは無いと思うが、この三人のように運命を通じていろいろな人と出会い、自分を成長させていくことで困難に立ち向かっていくことが生きる意味だとこの本を通じて思った。この本を読んで一番考えさせられたことがある。それは、直美は最後病院で亡くなってしまふのだが、その病院の帰り道に徹夜が良一に「生きろよ」と言ったのが心に刺さった。その時に、直美の分まで生きていこうという約束でこの本の題名にもなっている『いちご同盟』を

結ぶことになった。この「いちご」とは果物の苺ではなく、二人の年齢の「十五」を表現している。この言葉と約束から二人の決心がひしひしと伝わってきた。胸が熱くなった。この本を読んで「生」と「死」について考えさせられた。人はいつ死んでしまうのかは誰にもわからない。病気や事件、いつ起こるかわからない自然災害。これらによって人は簡単に死んでしまうのだ。私は今まで「死」というものについて真剣に考えたことがあつただろうか。もし自分にとって大切な友達や家族が亡くなつたらどうするのか。伝え残したことはないか、一日一日を大切に生きているか。今改めて振り返ってみると、明日死ぬわけがない、時間はたくさんあるというふうを考えていた自分がいた。しかし、この本で命の尊さを学び、生きていることは当たり前ではないということを実感させられた。そして自分が今すべきことは何かを考えた時に自分の将来の夢に向かって勉強をし、周りの人に感謝の心を持つだけでなく、積極的に伝えていこうと思った。

私は、この本を読んで、「人との関わり」「生きる意味」「生と死」など少し重い内容であったが様々なことを考えさせられた。読みながら自分と彼らを重ね、深く考えることができた。この本を読まなければ、これからの人生を大切にしようと思わなかつたと思う。この本に出会えて、本当に良かった。

(審査員講評)
一番印象に残るのは、市原さんの自分の思いを伝えたいという熱意です。これはとても大切で、本の選び方はもちろん、日頃から自分がどんなことを考え、何に興味を持ち、知りたいかなどを意識していないとなかなかできません。なぜなら自分としっかり向き合つてこそ、人に伝えるためのテーマや内容も自ずと絞られてくるからです。そこから最後まであきらめず、何度も推敲する粘りも生まれてきます。無駄のない引きしまつた構成はそんな努力の証と言えます。ナイススライ!

『いちご同盟』
三田 誠広 / 集英社文庫

新商品入れ替えのため
完全在庫処分
セール
このチャンスをお見逃しなく!

早い者勝ち!!
メガネフレーム
最大
50% OFF
さらに5%還元!!

お気に入りのメガネ
レンズ交換で使い続ける!
現在の見え方にストレスを感じている方、
度が合わなくなってしまった方、お気軽にご相談ください。
【期間限定】
レンズ交換
キャンペーン
20% OFF
通常割引価格よりさらに...

めがね・補聴器・時計・宝飾
あそしな時計店
熊本県阿蘇市一の宮町宮地1943-2
TEL 0967-22-3619 携帯電話 090-4678-2995 訪問対応可

11月11日 12月12日
補聴器の購入・買換をお考えの方にお得!
※それまでご使用された補聴器を一律5000円で下取りいたします。
※他社メーカーの補聴器・集音器でも下取りいたします!

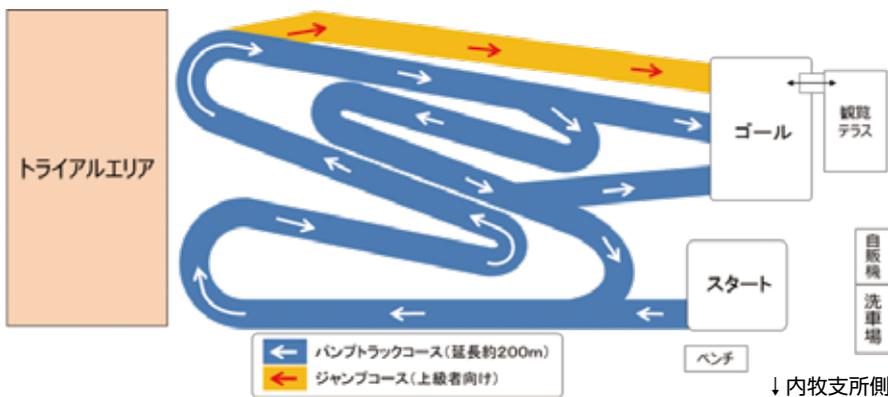
Supported by **SBAA**このマウンテンバイクフィールドは
一般社団法人 自転車協会の助成金制度 対象事業です。

ASO CYCLING TOURISM 通信

「阿蘇×自転車」のイマをお知らせする！阿蘇サイクルツーリズム通信

マウンテンバイク
阿蘇MTBパーク でおもいっきり遊ぼう！

マウンテンバイクや子ども用キックバイクなど、どんな自転車でも自由に持ち込んで無料で遊ぶことができる「阿蘇MTBパーク」。
でこぼこのオフロードコースや人工障害物のエリアで、ドキドキわくわくの自転車ライディングを楽しもう！



パンプトラックコース



観覧テラス

無料の自転車教室実施中

毎週水曜日には、マウンテンバイク教室を開催し、マウンテンバイクのレンタル(有料)も行っています。初心者から上級者まで、自転車で楽しみたい人をお待ちしています。



自転車教室の参加者



トライアルエリア

INFORMATION



阿蘇サイクルツーリズム学校「コギダス」協議会
事務局：阿蘇市役所 観光課内
☎ 22-3174 ☎ 22-4566

f 「阿蘇サイクルツーリズム学校」
フェイスブックやっています！

コギダス

検索

診療科目

胃腸科

内科

循環器科

整形外科

リハビリテーション科

リウマチ科

受付時間

午前 7:30~12:00 午後 13:00~17:45 土曜 7:30~11:00

診療時間

午前 9:00~13:00 午後 14:00~18:00 土曜 9:00~12:00

医療法人 社団大徳会

大阿蘇病院

阿蘇市一の宮町宮地5833

TEL: 22-2111

FAX: 22-2114

広告

平成 30 年度決算報告

令和元年第 3 回阿蘇広域行政事務組合議会定例会が開催され、平成 30 年度決算が承認されました。決算状況は次のとおりです。

阿蘇広域行政事務組合では、阿蘇圏域の住民の方々の生命と財産を守り、生活環境の整備と豊かで住みよい地域社会を作るための仕事をしています。

決算の詳細な内容は、ホームページからご覧いただけます。

阿蘇広域行政事務組合 ☎ 24-5111

一般会計決算状況

歳入総額 31 億 8,978 万円 前年度 46 億 2,727 万円と比べて、14 億 3,749 万円の減となりました。

項目	金額	構成率	説明
分担金及び負担金	25 億 5,821 万円	80.2%	当組合が行う事業のため、構成市町村が負担するお金です。市町村別の金額は右表のとおりです。
使用料及び手数料	1 億 5,604 万円	4.9%	ごみ処理手数料や火葬施設の使用料等による収入です。
国庫支出金	298 万円	0.1%	特定の事業を行うために国が交付するお金です。
財産収入	203 万円	0.1%	基金の利子及び財産売却（立木売却など）による収入です。
繰入金	765 万円	0.2%	組合事業の財源として基金から繰り入れたお金です。
繰越金	7,825 万円	2.4%	前年度からの繰越金です。
諸収入	1 億 1,772 万円	3.7%	預金利子、受託事業収入及び雑入による収入です。
組合債	2 億 6,690 万円	8.4%	大きな事業を行うために国や県、金融機関から借り入れたお金です。
合計	31 億 8,978 万円	100%	

市町村負担金一覧表

市町村名	金額
阿蘇市	11 億 215 万円
南小国町	2 億 708 万円
小国町	3 億 1,900 万円
産山村	7,324 万円
高森町	2 億 8,505 万円
南阿蘇村	5 億 1,721 万円
西原村	5,448 万円
合計	25 億 5,821 万円

歳出総額 31 億 2,769 万円

前年度 45 億 4,902 万円と比べて、14 億 2,133 万円の減となりました。組合各施設の熊本地震に伴う災害復旧事業の完了や元利償還完了の起債事業に伴う公債費の減額などが主な要因です。

項目	金額	構成率	説明
議会費	1,180 万円	0.4%	構成市町村の議員で構成する組合議会の運営費です。
総務費	1 億 3,480 万円	4.3%	組合の総括的な事務費です。この中に介護認定審査会、障害支援区分認定審査会の運営費も含まれています。
衛生費	16 億 152 万円	51.3%	生活に密着した事業費で、火葬施設及び一般廃棄物処理施設の運営費です。
消防費	10 億 1,824 万円	32.5%	消防、救急活動の費用です。
災害復旧費	835 万円	0.3%	平成 30 年 7 月豪雨による災害復旧事業に要した費用です。
公債費	3 億 1,782 万円	10.2%	国や金融機関などから借り入れたお金の返済費用です。
諸支出金	3,516 万円	1.1%	養護老人ホーム湯の里荘特別会計への繰出金です。
合計	31 億 2,769 万円	100%	

特別会計決算状況

特別会計名	特別養護老人ホーム阿蘇みやま荘	養護老人ホーム湯の里荘	合計
歳入決算額	3 億 555 万円	5 億 9,801 万円	9 億 356 万円
歳出決算額	2 億 9,892 万円	5 億 9,297 万円	8 億 9,189 万円
差引額	663 万円	504 万円	1,167 万円